

夏のワキ汗、アせる前に 形成外科へご相談を。



わたしたちが生きていくうえで、汗はとても重要な役割を担っています。しかし、日常生活に支障をきたすような汗は困りものですね。ワキの下に、体温調節に必要な量を超える量の汗が出て、日常生活に支障をきたす状態を「腋窩多汗症（えきかたかんしよう）」といいます。重度の腋窩多汗症は当院の形成外科で治療できます。

ボツリヌス療法*という選択

*ボトックス療法

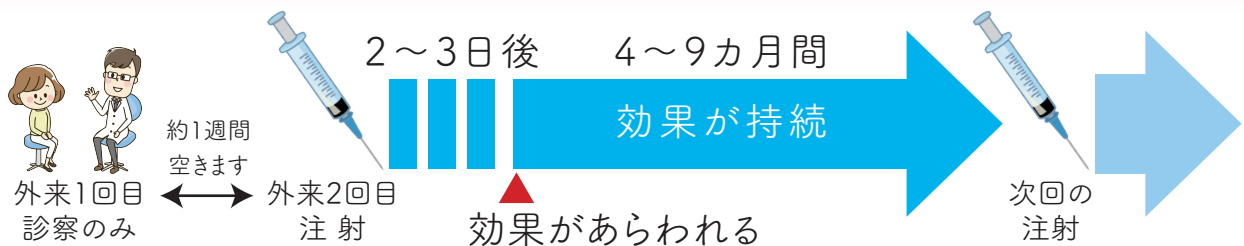
治療方法

ボツリヌス菌がつくる天然のたんぱく質を有効成分とする薬をワキの下に注射します。

効果の持続期間

汗を抑える効果は通常、治療後2～3日であらわれます。

1回注射すると効果が4～9カ月持続するので、年1～2回程度の治療で汗を抑えることができます。



副作用

注射後、まれに次のような副作用を生じることがあります。多くは一時的なものですが、程度が強い場合など、気になるときは医師にご相談ください。

◎注射部位が赤くなった、腫れた、痛む ◎からだがだるい ◎ワキ以外の部位で汗が増えた

外来診療日

ほりぐち まさとし
 担当医:堀口 雅敏 (日本形成外科学会専門医)

〔ボツリヌス療法ご希望の方〕外来1回目は、診察のみ、外来2回目に注射を行います。

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
外科		堀口						堀口				
形成外科			堀口	堀口			堀口				堀口	

<お問い合わせ> 佐々総合病院 形成外科 042-461-1535 (代表)